

アカエゾマツの森

アカエゾマツは、主に北海道の島々と樺太の南部に生えている針葉樹です。阿寒摩周国立公園ではこの常用樹を保護しており、雌阿寒温泉周辺や雌阿寒岳西部の山麓などで多く目にすることができます。雌阿寒温泉から雌阿寒岳への森は、ほとんどアカエゾマツだけで構成されています。

アカエゾマツは、ジメジメした所や（雌阿寒岳の土壌の様に）火山灰が占める場所や、日光が当たりにくい場所など、他の植物が成長できない厳しい環境でも生き抜くことができます。雌阿寒岳のアカエゾマツの中には樹齢がおよそ 250 年の樹もあり、多くが高さは 30 メートルに達しています。